

# 原発被災者支援報告書

2020年9月30日 Café de FUKUSHIMA 石川和宏

\*報告期間:2020年9月14日～9月17日(3泊4日 2020年第7次)

## 【1】結果の概要

9月14日～9月17日(2020年第7次)(開催回数)(被災地 or 避難元:開催地)

復興住宅2ヶ所・被災者避難先住民組織1ヶ所

◇9月15日(火) 北沢又復興住宅(初) 浪江町民:福島市

◇9月16日(水) 南相馬市飯舘同窓会(23) 飯舘村民:南相馬市

◇9月17日(木) 湯長谷復興住宅(初) 富岡・大熊・双葉・浪江各町民:いわき市

\*9月に会った被災者・避難者 59名、総参加者 76名

\*集計開始(2015年1月)以来支援した被災者・避難者 8,772名、支援者などを含めた総数 9,788名

9月は、コロナの影響は相変わらず、猛暑はやっと収まりました。

今月も、新型コロナウイルスの影響が大きい中でしたが、たくさんの被災者に出会えました。

政府・各地方自治体・集会施設などの規制の中、「感染防止」と「被災者支援」両立をさせ、3ヶ所で58人の参加者がありました。

この内2ヶ所は、初めて訪問したところです。現地拠点・サマリタンハウス(宮城県山元町)を設けて本格的な支援開始からはや5年経ちますが、まだまだ訪れていない所があります。

支援の中身も、「食事なし」など制約があってコロナ前に比べ魅力には欠けるのですが、被災者の皆さんは大変喜んでおられました。

「新しい日常 New Normal」時代の支援の形・被災者との接点作りの模索が続きます。

## 【2】9月15日 福島市 北沢又復興住宅

福島市駅の北方(飯坂温泉方面)5kmの住宅地にある。福島県営の復興住宅で3階建て集合住宅が152戸。友人が自治会長様の知り合いで、仲介してもらった。チラシ配布とポスター掲出は自治会に引き受けていただいた。住民は、浪江町の方が多い。かつて訪問した近所の仮設に住んでおられた方もいた。

近くにある北沢又第2復興住宅は3回訪れているが、ここは初訪問。サマリタンハウスから白石IC・福島飯坂IC経由で72km・1時間20分。

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者8名(内男性2名) 総参加者 12名
- ・支援者は、カイク加藤さん・加藤幸子さん(ゴスペルタレント企画・腹話術とマジック)・石川千鶴子・石川和宏
- ・提供したのは、マジック・腹話術・DVD上映(きみまる②前半)・ビンゴゲーム・カフェ(自家焙煎コーヒー・水出しコーヒー・手作りケーキ・菓子)

## 皆様から伺ったこと

### (避難先・避難経路)

- ・浪江町 → 新潟県(10回)
- ・飯館村 → 南矢野目仮設 → 北沢又復興住宅
- ・富岡町 → 郡山市 → 埼玉県幸手市 → 郡山市 → 福島市
- ・浪江町 → 浪江町津島中学校 → 福島市 → 東京都 → 福島市
- ・飯館村 → 長野県 → 福島市
- ・飯館村 → 二本松市瀬ノ上 → 福島市北沢又



### (避難先・期間後で困っていること)

- ・イノシシは鼻でシャッターを開ける。閉めて帰っても開いているので不思議だったが、イノシシの仕業だと分かった。
- ・イノシシは、臭いで食べ物を探し当てて喰い荒らす。(注:イノシシの嗅覚はイヌ並みでヒトの数千から数万倍)
- ・日用品の買い物(歩き)。
- ・親しい友人が少ない。
- ・体が不自由で移手段がない。



### (新型コロナウイルス感染症について)

- ・コロナは怖いのですが、人生最後の方なのであまり気にせず出掛けるようにしています。
- ・早く普通の生活がしたいです。
- ・コロナで旅行に行けないのと、食事に皆さんと行けないのが残念です。
- ・気持ちが何となく落ち着かない。
- ・どこへも出掛けられず不自由です。

### (イベントの感想・Café de FUKUSHIMA への要望)

- ・楽しませていただいてとても有り難いことです。
  - ・久しぶりにとても楽しかったです。
  - ・心が穏やかになりました。
  - ・見られないものが見られました。
  - ・毎回楽しみにしております。イベントが少なくなっている中、とてもうれしかったです。
  - ・すごく楽しかったです。もう少し人もいれば…申し訳ありません。
  - ・これからも、また来ていただければうれしいですね。
  - ・皆さんと一緒によかった。行くところがないのでよかった。
  - ・楽しい時間(腹話術・手品など目の前で見学)でした。ありがとうございました。
  - ・たくさんのお土産もいただきありがとうございました。
  - ・大変楽しかった。気持ちが晴々した。
- 今後も続けて下さい。ご苦労さまです。
- ・とても楽しくすごしました。このような集会が多いことを望みます。
  - ・一生懸命さがよく表れていた。





### 【3】9月16日 飯館村民 南相馬市飯館同窓会

この同窓会は、南相馬市などに住む飯館村民の方が隔月に集う「小さなお茶会」。通算では24回目になる。既に帰村した方も毎回幾人か参加される。Café de FUKUSHIMA は、運営を引き受けている。会場は毎回南相馬市の施設石神生涯学習センター。

3月に予定した会が緊急事態宣言で中止していたが、村民の皆さんから強い要望があり、半年振りの再開になった。今後毎月の開催を要請され、引き受けることにした。

コロナ対策で、会場も大会議室(定員100名)に変更した。石神生涯学習センターは、感染防止で飲食禁止(体調維持の飲み物は可)なので、食事やケーキは、出せない。

#### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者 34名(内男性7名) 総参加者 40名
- ・支援者は、カイク加藤さん・加藤幸子さん・石川千鶴子・石川和宏
- ・提供したのは、お誕生会・マジック・腹話術・ビンゴゲーム・体調維持の飲み物・季節の和菓子(持ち帰り)

#### 皆様から伺ったこと

##### (避難先・避難経路)

- ・飯館村 → 福島市 → 米沢市 → 川俣町 → 相馬市
- ・飯館村 → 南相馬市原町区 → 南相馬市原町区押釜
- ・飯館村 → 福島市松川町仮設 → 飯館村
- ・飯館村 → 福島市 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 福島市 → 南相馬市
- ・飯館村 → 南相馬市鹿島区 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 猪苗代町中ノ沢 → 福島市飯野町 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 猪苗代町中ノ沢 → 福島市飯野町 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 福島市 → 南相馬市
- ・飯館村 → 南相馬市原町区 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 福島市 → 相馬郡新地町駒ヶ峰 → 新地町 → 南相馬市
- ・飯館村 → 相馬市仮設 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 川俣町 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 鹿沼市 → 猪苗代町沼尻 → 南相馬市鹿島区



- ・飯館村 → 福島市松川町 → 南相馬市
- ・飯館村 → 山形県 → 川俣町 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 南相馬市原町区仲町
- ・飯館村 → 相馬市仮設 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 福島市 → 会津 → 福島市松川町
- ・飯館村 → 福島市 → 新潟県湯沢町 → 新潟県 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 福島市（マンション） → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 南相馬市 → 飯館村
- ・飯館村 → 南相馬市 → 相馬市
- ・飯館村 → 栃木県 → 南相馬市原町区
- ・飯館村 → 猪苗代町横向温泉 → 福島市松川町（仮設）
- ・飯館村 → 福島市飯坂（癒しの宿） → 桑折町 → 飯館村

#### **(避難先・期間後で困っていること)**

- ・ふるさとを思う気持ち。
- ・仕事に行くのに土日のバスがない。
- ・避難先(南相馬市)から飯館村の自宅と農地の手入れ管理に通うのが大変。
- ・店が遠い。
- ・遠距離(離れた)生活のため、家族の間が難しくなった。
- ・友達が少ない。
- ・手足が痛い。
- ・一人いるから心配。
- ・楽しかった。また来てください。
- ・家に来るイノシシ・サルが心配。
- ・隣近所に飯館村の方がほとんどいなく、悲しい。
- ・家族全員が病気。私は甲状腺で通院。
- ・住み慣れた所でない。
- ・飯館村にも家がある。
- ・ありません。
- ・近所に人がいない。
- ・夫がいないこと。
- ・子供は飯館村にます。いつも会えます。
- ・孫に会いに行けません。
- ・村人同士で無駄話・笑い話をする機会がとても少なくなったこと。

#### **(新型コロナ感染症について)**

- ・コロナ問題を早く解決して頂きたいと思います。
- ・子供や孫の心配が増えた。
- ・新型コロナで外出できないので困ります。早く対策をして下さい。
- ・外に出て買い物に行くのが怖い。

- ・出歩くことができない。
- ・孫・ひ孫に会いたい。
- ・母親が入院中なのであまり会えない。
- ・どこにも行ったりできない事。
- ・老人のため、怖い。子供・孫に会うのが大変。
- ・一人でどこにも出かけない。
- ・皆さんで集まってお話しする所がない。
- ・新型コロナで、川崎にいる両親に会えません。県外の親戚にも会えません。
- ・マスコみや行政は、自分たちができること(手洗い・うがい・マスクなど)、感染に至った詳しい状況をもっとしっかり周知して下さい。

### (イベントの感想・Café de FUKUSHIMA への要望)

- ・楽しかった。また来てください。
- ・このままで良いです。有難く思っています。
- ・素晴らしかった。月一回やっていただけるといいですね！
- ・大変楽しかったです。久しぶりに皆さんに逢えた。
- ・これからも頑張って下さい。
- ・長い間のご協力ありがたい。
- ・何回でも来て下さい。
- ・久しぶりにお出かけで、少し心が穏やかになったようです。
- ・皆さんに逢えてすごくうれしかった。
- ・みんなに会える場を作ってほしい。
- ・感想:楽しい。 要望:場を作ってください。
- ・皆さんに会ってうれしかった。これからもよろしくお願いします。
- ・最高に楽しい(笑いがあって)。
- ・久しぶりで皆に会えて良かった。
- ・色々していただいて、いいなと思います。これ以上はいいです。ありがとうございます。
- ・本当にありがたいです。
- ・今日は皆に会えて良かった。
- ・お誕生日のお祝いから始まるお茶会は初めて！お互いに「おめでとう」と言い交わす集いは素晴らしい！
- ・活動実績を村役場につないでほしい。



## 飯館村の避難状況

今年7月末付けの飯館村公表値によると、住民登録では、1,836世帯・人口5,325人である。避難村民は、県内が1,507世帯3,635人・県外が117世帯200人である。原発事故前(6,209人)に較べると村内に帰還したのは20%、1,243人である。

県内避難者の避難先は、最も多いのが福島市で、884世帯2,396人、次いで南相馬市が145世帯331人である。県外避難者(200人)の避難先は、北海道から沖縄まで17都道府県である。同窓会は、飯館村の広報で相馬市への避難者(64世帯148人)にも案内し、参加して頂いている。

## 【4】9月17日 いわき市 湯長谷復興住宅(いわき市常磐上湯長谷町)

浜通り4町民(富岡・双葉・大熊・浪江)が住む県営復興住宅で鉄筋コンクリート5階建て1棟・50戸。いわき市小名浜の北西郊外スパリゾートハワイアンズ(旧常磐ハワイアンセンター)に近い。初訪問  
サマリタンハウスから、坂本IC・いわき湯本ICで130km・1時間30分

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者17名(内男性5人) 総参加者24名
- ・支援者は、カイク加藤さん・加藤幸子さん・石川千鶴子・石川和宏。  
自治会様、みんぷく様にも手伝って頂いた。
- ・提供したのは、マジック・腹話術・DVD上映(きみまる②前半)・ビンゴゲーム・カフェ(自家焙煎コーヒー・水出しコーヒー・手作りケーキ・菓子)

## 皆様から伺ったこと

### (避難先・避難経路)

- ・双葉町 → 川俣町 → 埼玉市 → 加須市 → 猪苗代町 → いわき市
- ・浪江町 → いわき市
- ・双葉町 → 川俣町 → 埼玉スーパーアリーナ → 加須市騎西高校避難所 → 西白河郡西郷村(アパート) → いわき市湯長谷団地
- ・双葉町 → 四街道 → 大宮 → 加須市 → 猪苗代町 → 勿来 → 湯本 → いわき市
- ・浪江町 → 加須市 → いわき市
- ・富岡町 → 川内村 → 郡山市 → 群馬県 → いわき市
- ・双葉町 → いわき市 → いわき市
- ・富岡町 → 福島市 → 会津 → いわき市
- ・浪江町 → いわき市
- ・双葉町 → 川俣町 → 埼玉スーパーアリーナ → 加須市騎西高校避難所 → 西白河郡西郷村(アパート) → いわき市湯長谷団地
- ・大熊町 → 東京都 → 会津 → いわき市
- ・富岡町 → 川内村 → 福島市 → 会津 → 埼玉 → 埼玉 → 埼玉 → いわき市
- ・富岡町 → いわき市玉露 → いわき市湯長谷

### (避難先・期間後で困っていること)

- ・ふるさとを思う気持ち。

- ・仕事に行くのに土日のバスがない。
- ・何となく不安。
- ・仕事がない。
- ・東京へ行けない。
- ・交通が不便。
- ・買い物・病院
- ・一人で寂しい。



#### (新型コロナウイルス感染症について)

- ・孫に会えない。出歩くことが少なくなった。
- ・外出できなかった。

#### (イベントの感想・Café de FUKUSHIMA への要望)

- ・とても楽しかったです。
- ・今日みたいな場をまたやってください。
- ・外出ができた。笑えた。皆さんに会えた。これからもよろしく。
- ・楽しかった。また来てください。
- ・大変楽しかったです。次回もお願いしたい。
- ・久しぶりに楽しかった。笑うことが出来た。
- ・最高でした。涙が出ました。久しぶりにお腹がよじれるくらい笑いました。コーヒーおいしく頂きました。
- ・また来てほしいです。お待ちしております。
- ・とても楽しかった。すばらしい手品。またよろしく。
- ・また楽しい集いを心待ちにしております。
- ・大変楽しかったです。言う事なし。



### 【5】まとめ

政府の都道府県境をまたぐ移動自粛要請の解禁は6月19日でした。Café de FUKUSHIMAの被災者支援は、4月の物資支援を除けば、3月20日が最後で、再開は7月1日からになりました。7月～9月で、9ヶ所・192名の方を支援できました。

国では、「Go To トラベル」「Go To Eat」などむしろ人出を督励しています。福島県でも9月から「福島県催事等企画・運営支援事業補助金」の募集を開始しました。「新型コロナウイルス感染症の影響により中止が相次いでいる催事等が、地域社会・地域経済に大きな役割を果たしている重要性を踏まえ、感染拡大防止対策の適切な確保やオンライン等の代替手段の活用など、新しい生活様式に対応

する催事開催の取組を支援する。」とのことでした。

一方で、Café de FUKUSHIMA が支援活動の接点で感じる皮膚感覚では、被災者支援に関係する自治体やその関連団体は、政府や福島県の施策とは異なり、極めて「慎重」です。同業者となかなか同業になれないもどかしさがあります。

最近福島県より県内避難者・帰還者心の復興事業実施状況ヒアリングがあったので、事業を実施するうえでの課題の欄にこの問題についてしっかりと書かせてもらいました。被災者の益になる反応を期待しています。

被災者支援は、今停める理由は幾らでもあるのですが、被災者の皆さんが支援を待っているのは、今回のアンケートを見てもよく分かります。「サイエンス」の問題として合理的で、かつ独断・独善でない感染回避を行いつつ、今後も被災者に行き当たりたいと思います。

今回も、資金・手作りケーキ・衣料品などを皆さんから提供して頂きました。お礼を申し上げます。

### 「いわき市で思い出したこと」

今回初めての訪問先では、持参しているケーキについて、特に丁寧にお話しすることを心掛けました。コーヒータイムにお出ししているケーキは、名古屋岩の上教会の皆さんの手作りのものであること、そしてそれは、原発事故に被災された皆さんのことを忘れていないというメッセージが込められているということを、説明しました。

イベントが終わって散会するときに、おひとりの方が、「ケーキを作って下さった教会の住所を教えてください」と言ってこられました。一切れのケーキの背景を受け止めて下さったのだと思いました。

最後にお訪ねしたいわき市は、避難指示が出されなかった地域ですが、多くの方が自主避難されたと聞いています。間もなく戻ってこられた方々、特にお子さんを抱えておられる家庭では、放射能汚染(被曝)の心配がありました。除染をしてもあちこちからホットスポットが見つかったからです。しかし、その心配を言葉に出来ない雰囲気が早くから醸成され、「なぜこっそり心配しなければならないのか」と涙ながらに話されたお母さんの話を思い出しました。

多くの方々の心の底で、この心配と不安が沈殿したままになっているのではないかと考えています。10年という時間も、この問題を解決したとは思えません。(この項石川千鶴子)

### 【7】2020年10月の予定

10月13日～10月16日(2020年第8次)(開催回数)(被災地 or 避難元:開催地)

復興住宅1ヶ所・避難指示解除地区1ヶ所・被災者避難先住民組織1ヶ所

◇10月14日(水) 上町復興住宅(6) 飯舘村民:南相馬市

◇10月15日(木) 川内村(全村対象)(5) 川内村民:川内村

会場は、川内村コミュニティセンターホール 川内村社会福祉協議会の後援が決まりました。

◇10月16日(金) 南相馬市飯舘同窓会(24) 飯舘村民:南相馬市

皆様のご要望により、今後しばらくは毎月の開催になります。